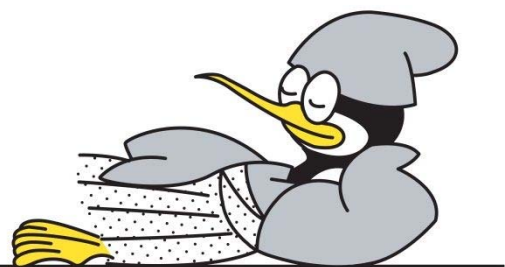


付属資料





付属資料

用語解説（50 音順）

あ行

・アセットマネジメント手法

水道施設を資産としてとらえ、中長期的な視点から水道施設のライフサイクル全般にわたって、更新需要と健全度及び財政収支見通しをたて、効率的かつ効果的に管理運営する手法のことです。

いちにちさいだいきゅうすいりょう

・一日最大給水量

一年のうちで最も多い給水量が発生した日の給水量のことです。

いちにちへいきんきゅうすいりょう

・一日平均給水量

年間給水量を一日当りの給水量にしたものです。

・塩化ビニル管

「塩化ビニル樹脂」を材料とした管です。塩化ビニル樹脂は、鋼管や铸铁管などと比べ軽量で耐薬品性・耐食性に優れており、経済性にも優れているため水道管として広く普及しています。ただし、昭和 50 年代以前に布設されたものは、耐震性能を有していないうえに破損等による漏水事故が多く報告されています。

・温室効果ガス

太陽からの日射エネルギーを通過させ、反対に地表から放射させる熱を吸収し、熱が地球の外に出て行くのを防ぐ性質がある大気中のガスのことで、二酸化炭素や一酸化二窒素など 6 種類あります。

か行

・拡張事業

事業の範囲や規模を拡大するための事業のことです。

・簡易水道

計画給水人口が 5,000 人以下である水道のことです。施設が簡易ということではなく、計画給水人口の規模が小さいものを「簡易」と規定したものであり、水を供給する水道事業のことを簡易水道事業といいます。なお、厚生労働省は、財政基盤の安定化や水道の広域化を進めるために、規模の小さい簡易水道事業を水道事業へ統合することを推進しています。

・基幹管路

水道水を各地域まで運ぶための重要な管路のことです。

きかんしせつ
▪ **基幹施設**

水道水を各地域まで運ぶための重要な施設（水源地、加圧ポンプ施設、配水池、基幹管路）のことです。基幹施設は、施設能力や機能停止による都市機能に与える影響度、応急給水拠点への配水の有無等を考慮して選定しております。

きかんかんろ たいしんかりつ
▪ **基幹管路の耐震化率**

耐震化された基幹管路の延長を基幹管路の総延長で除したもので、基幹管路の耐震化の割合です。

きぎょうさい
▪ **企業債**

地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債のことです。

ぎふしこうえいきぎょうけいえいしんぎかい
▪ **岐阜市公営企業経営審議会**

公営企業の経営に関する重要事項を調査審議する機関で、市議会議員や学識経験者などで構成される市民の代表機関です。

きゆうすいじんこう
▪ **給水人口**

給水区域内で給水を受けている人口のことです。

きゆうすいりょう
▪ **給水量**

需要者に対して供給する浄水の総量で、配水量ともいいます。

きゆうすいくいき
▪ **給水区域**

水道事業者が厚生労働大臣又は都道府県知事の認可を受け、一般の需要者に応じて給水をおこなうこととした区域のことです。

きゆうすいしゅうえき
▪ **給水収益**

水道事業会計における営業収益のひとつで、水道料金として収入となる収益のことです。

きゆうすいげんか
▪ **給水原価**

有収水量1 m³あたりについて、どのくらいの費用がかかっているかを表すものです。

きょうきゅうたんか
▪ **供給単価**

有収水量1 m³あたりについて、どのくらいの収益を得られたかを表すものです。

▪ **クリプトスポリジウム**

人などは乳動物の消化管に寄生する原生動物（原虫）であり、感染した場合、激しい下痢、腹痛、発熱やおう吐などを引き起こします。塩素に強い耐性を有しているため、通常の消毒では死滅させることは困難です。



・グリーン購入^{こうにゆう}

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

・経年化管路^{けいねんかかんろ}

法定耐用年数を超えて布設されている管路のことです。管路であれば40年となります。

・経年化管路率^{けいねんかかんろりつ}

経年化管路の延長を管路の総延長で除したもので、経年化している管路の割合です。

・減価償却費^{げんかしょうきやくひ}

固定資産の減価を費用として、その利用各年度に合理的かつ計画的に負担させる会計上の処理または手続きを減価償却といい、その減価額を減価償却費といいます。

・検針委託率^{けんしんいたくりつ}

水道メーターの検針を委託した数を水道メーターの総数で除したもので、水道メーター検針業務の委託の割合です。

・建設改良費^{けんせつかいりょうひ}

水道施設の新設や既にある施設を改良するための事業費のことです。

・公共施設等運営権方式（コンセッション方式）^{こうきょうしせつとうらんえいけんほうしき}

高速道路や上下水道などの料金徴収を行う公共施設について、施設の所有権を地方公共団体などに残したまま、その運営を特別目的会社として設立される民間事業者が行う事業の手法のことをいいます。民間事業者は、事業経費を料金収入などにより回収する「独立採算制」によって事業運営を行います。

・高度浄水施設^{こうどじょうすいしせつ}

通常の浄水処理方法では十分に対応できない臭気物質、トリハロメタン前駆物質、色度、アンモニア性窒素、陰イオン界面活性剤等の処理をおこなう活性炭処理施設、オゾン処理施設及び生物処理施設のことをいいます。また、クリプトスポリジウム等の処理を行なう紫外線処理施設や膜ろ過施設についても高度浄水施設となります。

・高密度ポリエチレン管^{こうみつどかん}

「高密度ポリエチレン樹脂」を材料とした管です。高密度ポリエチレン樹脂は、鋼管や鉄管などと比べ軽量で耐薬品性・耐食性に優れており、管と継手を組織的に一体化構造とすることができるため、耐震性にも優れています。

さ行

・ ジアルジア

ジアルジアは、人などほ乳動物の消化管に寄生する原生動物（原虫）であり、感染した場合、激しい下痢、腹痛、発熱やおう吐などを引き起こします。塩素に強い耐性を有しているため、通常の消毒では死滅させることは困難です。大きさは、直径8～12 μm 程度でクリプトスポリジウム（4～6 μm ）よりやや大きい原虫です。

・ 紫外線処理

塩素消毒では死滅しないクリプトスポリジウム等の病原性原虫を、紫外線の照射により不活化する処理のことで、不活化することにより人への感染を防ぎます。

・ 資本的収支

施設を整備するための費用で、建設改良や企業債に関する収入及び支出のことです。

・ 指標菌

指標菌は温血動物の常在菌であり、糞便に多数存在する大腸菌と、塩素耐性を持つ嫌気性芽胞菌となっています。水道原水中に指標菌どちらか一方でも存在する場合は、クリプトスポリジウム等による汚染の恐れが高いと判断出来ます。

・ 取水施設

水源から原水を取り入れるための施設です。河川や湖沼などの表流水には、取水堰、取水門、取水塔などの取水施設があり、伏流水や地下水には浅井戸、深井戸などの取水施設があります。

・ 収益的収支

水道料金や施設維持管理経費など、経常的経営活動により発生する収入及び支出のことです。

・ 浄水予備力の確保率

浄水施設能力を現在の一日当りの実質浄水量で除したもので、一日当りの実質浄水量に対してどのくらいの予備力があるかを示す割合です。

・ 水源地耐震化率

耐震化された水源の施設能力を全水源の施設能力で除したもので、全水源の施設能力のうち耐震化された水源の施設能力の割合です。

・ 水源余裕率

確保している水源水量を一日最大給水量で除したもので、一日最大給水量に対して水源水量の余裕を示す割合です。



すいしつ きじゆん
・ **水質基準**

水道水は、水道法で定められた水質基準（51項目）に適合しなければならず、その項目は「健康に関連する項目」と「水道水が有すべき性状に関連する項目」に分類されます。

すいどう しせつ
・ **水道施設**

水道のための取水施設、貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設及び配水施設であって、水道事業者の管理に属するものをいいます。

すいどうせいびじぎょう
・ **水道整備事業**

老朽化した水道施設を更新したり、耐震化を行うための事業のことです。

せきめんかん
・ **石綿管**

石綿管とは、「石綿（アスベスト）繊維とセメント」を材料とした管です。石綿管は、安価な水道管材として昭和30年代に広く普及していましたが、耐用年数が短く、他の材料と比べて老朽化したときの強度が著しく低くなることや、ダクタイル鋳鉄管や塩化ビニル管等の耐久性・耐震性に優れた管が安価に供給されるようになり、その需要は急速に縮小しました。

た行

たいしんかん
・ **耐震管**

地震の時に、管路にずれが生じて破損することのないよう管路の接続部分（継手部分）が伸縮するなどの耐震性能を備えた管のことです。

ちゅうてつかん
・ **ダクタイル鋳鉄管**

水道管として広く普及している管で、「ダクタイル鋳鉄」を材料とする鉄管です。「ダクタイル」とは、英語の「Ductile」のことで、延性のあるという意味の形容詞です。1948年、鋳鉄組織内の析出黒鉛形状を片状から球状に変えた「球状黒鉛鋳鉄」が開発され、それまで一般的に使用されていた片状黒鉛鋳鉄の2倍以上の強度と高い靱性を有したことから「ダクタイル鋳鉄」と呼ばれました。

ちゅうてつかん
・ **鋳鉄管**

材料として「ねずみ鋳鉄」を使用した管です。明治初期から昭和30年頃まで使用されていましたが、より優れた特性を持つダクタイル鋳鉄管が製品化され普及したことから、現在は製造されていません。

な行

・内部研修時間ないぶけんしゅうじかん

職員の資質向上のために実施される、水道事業者が独自に職務として参加させる水道事業に関する研修の時間のことです。

・鉛製給水管率なまりせいきゅうすいかんりつ

鉛製給水管を使用している戸数を給水戸数で除したもので、鉛製給水管を使用している戸数の割合です。

は行

・配水施設はいすいしせつ

配水池、配水塔、高架タンク、配水管、ポンプ及びバルブ、その他付属設備により構成される施設のことです。

・配水池はいすいち

需要量に応じて適切な配水を行うために浄水を一時貯えるための池で、渇水や地震、事故など災害時には、配水池に貯められた水が飲料水や消火用水となるなど、災害対策でも重要な施設となります。

・配水池清掃実施率はいすいちせいそうじっしりつ

最近5年間に清掃をおこなった配水池の容量を配水池の総容量で除したのもで、清掃を実施した配水池の容量の割合です。

・配水池耐震化率はいすいちたいしんかりつ

耐震化されている配水池を配水池総容量で除したもので、耐震化されている配水池容量の割合です。

・配水池貯留時間はいすいちちりゅうじかん

配水池総容量を一日平均給水量で除して時間に換算したもので、一日平均給水量に対して配水池が貯留できる時間です。

・PDCAサイクル

Plan/Do/Check/Action の頭文字を揃えたもので、計画(Plan)→実行(Do)→検証(Check)→改善(Action)の流れを次の計画に活かしていくプロセスのことをいいます。

・普及率ふきゅうりつ

給水人口を給水区域内人口で除したもので、給水区域内人口に対する給水人口の割合です。



ふくりゅうすい
・伏流水

河川の流水が河床の地質や土質に応じて河床の下へ浸透し、水脈を保っている極めて浅い地下水のことで、本来の地下水とは異なり、河道附近に存在して河川の流水の変動に直接影響されるものをいいます。地中で自然のろ過が行われるため、表流水に比べて濁度など水質が良好で安定しています。

ほうていたいようねんすう
・法定耐用年数

地方公営企業法施行規則に定められている水道施設（構造物、管路施設、機械設備、電気設備等）の減価償却費を算定するための年数です。

や行

ゆうこうりつ
・有効率

有効水量を給水量で除したもので、給水量に対して有効に使用された水量（給水量から管路の漏水や赤水等による減額調定水量などを除いた水量）の割合です。

ゆうしゅうすいりょう
・有収水量

供給した給水量のうち、料金収入となった水量のことです。

ゆうしゅうりつ
・有収率

有収水量を給水量で除したもので、給水量に対して料金収入の対象となった水量の割合です。



ペットボトル「長良川の雫(しずく)」

岐阜市新水道ビジョン (岐阜市水道事業基本計画)

ぎ ふ
確かな技術で 普段の暮らしを支え
し
信頼される ぎふしの水道

平成 29 年 3 月

発 行 岐阜市上下水道事業部



〒500-8156 岐阜県岐阜市祈年町 4 丁目 1 番地

TEL : 058-259-7878

FAX : 058-259-7522

ホームページ <http://www.gifusui.jp/top.htm>